

阿武隈高地の線量測定の日歩き(その2：日山山行報告)

2014.09.02. 福岡・記

先月の阿武隈高地・大滝根山に続いて、8月25日(月) 日山(天王山)に行ってきた。日山(1054.6m)は、二本松市と葛尾村の境界にある阿武隈高地では大滝根山に次ぐ高峰である。葛尾村のホームページで調べてみると「現在、立ち入りはできません。」とあった。二本松市の観光課に問い合わせると、こちら側からは入山できるようで、バスの時刻表を送って頂いた。このバスの時刻表を見ると、通勤・通学の人を利用するためか週末よりウィークデイの方が便数が多い。それで私は月曜日に日帰りで行くことにした。

いつ雨が降ってくるか分からない様な蒸し暑い日であった。だが、春夏秋冬で一番暑い時と一番寒い時の山に行くことを旨としている私としては、耐暑訓練には適当な山である。また、Slow-Lifeを旨としている私だが、今回はバス時刻と登山時間の関係で東北新幹線を利用することにした。いつもは鈍行電車でユックリ、車窓の風景を楽しむのだが・・・。

10:30 JR 二本松駅前から約200mほど先の福島交通バス停[二本松駅入口]から乗車。客は小生以外には誰も居ない。途中2,3人の乗降客があったが、皆小生と同じくらいの高齢者ばかりである。約30分ほどで福島交通バスの終点[二本松市岩代支所]に着く。ここで「岩代地域コミュニティバス」に乗り換えることになるが、約50分程の待ち時間があった。この支所の前に「伊達政宗ゆかりの小浜城跡」の説明版があったので、そこに寄ってみることにする。この小浜城跡の説明版によると、福井県の小浜にも小浜城があるが、応永年間(1394~1428)に大内氏がこの地に移り、この地形が本国の小浜に似ていることから小浜城とした、とある。

小浜城跡を20分ほどで往復し、岩代支所に戻り、雨雲の間から時間が流れ、残暑厳しい下でオニギリを食べ、「岩代地域コミュニティバス」に乗り込む。客は、また小生一人である。途中、2,3人の乗降客があったが今度も老婆と女学生であった。40分あまりで[日山(天王山)登山道入り口]という門柱があるところで、バスの運転手さんが「日山登山はここで降りる人が多いですよ」と言ってくれた。



小浜城跡



フナの樹林帯

ここで用を済

まし登山靴の紐を締めて出発である。2.5kmほど舗装道路を歩くと[日山原生林遊歩道入口]の看板のある所に着く。ここから山頂まで2.2kmの表示がある。この登山口から頂上まではミズナラやブナなどの樹林帯の中のジメジメした山道となる。小生の線量計は0.30 μ Sv/hで[アラーム設定]しているので、ピーピーと線量計は鳴りっ

ぱなしである。14:35 日山(1054.6m)山頂着。日山はフクイチからは西北西 WNW294°、33.8kmにある。日山山頂は、普通の山頂には無い広い平地があり、3つの神社と木製の展望台がある。三つの神社は、それぞれ麓の田沢、茂原、葛尾地区の方向を向いて建っている。展望台に昇って見るが、生憎の天気(低い雨雲)で展望はない。天気が良ければ、太平洋やフクイチ方面も展望できたはずである。またこの日山は、数年前までは「富士山に見える最北の山」として「売り出して」いたが、今はこの日山の北西5kmの麓山(羽山)のその座を譲ったと



日山山頂



日山山頂の山野草

か。山頂地面での放射線量は $0.58 \mu\text{Sv/h}$ であった。山頂より下の登山路(樹林帯の中)では、 $1.17 \sim 0.90 \mu\text{Sv/h}$ であった。山頂では、山野草が咲き乱れ、福ちゃんの心を少し慰めてくれた。しかし、数年後これらの草花に変種が出てくるのかは誰も分からない。日山神社にお詫びのつもりで小銭(賽銭)を入れ、持参のお酒と水を注ぎ、二拍一礼する。帰りのバス時間が気に掛かるので、少しだけ腹ごしらえを済ませ、早々に下山する。15:55 登山口、着。この登山口の所に[公共牧場管理棟]がある。ここに登山客用の駐車場もある。この駐車場

の前の道路脇の草むらに文科省設置の日立アロカメディカル(株)製の PORTABLE MONITORING POST MAR-1561 があった。この表示は $0.259 \mu\text{Gy/h}$ を指し示している。小生の線量計(QUARTA 社 RADEX RD1503)は $0.24 \mu\text{Sv/h}$ を表示している。($0.259(\mu\text{Gy/h}) \times 0.8 = 0.207 \mu\text{Sv/h}$ になる。)

(帰宅後、ネットで日立アロカメディカル社の線量計と $\mu\text{Gy/h}$ のことを調べてみた。日立アロカはいろんな線量計を製作・販売しているようだ。全国の各都道府県市町村では空間線量を測定・発表しているようだが、 $\mu\text{Sv/h}$ 表示より $\mu\text{Gy/h}$ 表示の方が大きいようであった。)

16:40 田沢バス停、着。丁度いい塩梅に[岩代地域コミュニティバス]が来てくれる。小型のマイクロバスである。往路と同様、乗客は小生一人である。人の良さそうなバスの運転士さんが「登山が趣味ですか」と聞いて来る。福ちゃん「はい、そうです。今回は千葉県から趣味の登山と放射線量の測定を兼ねて来ました」と。岩代支所の福島交通バスとの乗り換えバス停までの間、バスの運転手さんと原発の話しやその他色々なことを話し合った。運転手さん「原発は止めたいが直ぐには止められない」等々。小生も自分の思いを縷々述べる。原発は今止めても廃炉には40年は掛かること。今、原発は運転しなくても電気は足りていること。原発は止めても自然エネルギーだけでもやって行けるし、再生可能エネルギーの開発等で雇用も拡大できることなど。ただ、風力でも太陽光でも全く問題が無いということでもないこと、等々。運転手さんが気分を害さないで小生の意見を少しでも汲んでくれればいいのだが、とと思って話をした。

18:10 JR 二本松駅、着。例の如く、駅前の店で福島県郡山産の吟醸酒「雪小町」とビール「スーパードライブプレミアム」を買い込み、帰りの電車に乗り込む。郡山までは普通電車なので空いていて座れる。郡山からの新幹線自由席も空いていて座れる。買い込んだ酒・ビールが切れると、持参の残った焼酎を飲み、適度な山歩きの疲れを楽しむ、福ちゃんでした。

今回は、二本松駅から見えた安達太良山の前衛・和尚山(1602m)を、線量測定を離れて、紅葉の秋山を堪能したいと思う。その次は、入山規制があるか微妙だが、野手上山(629m、飯館村)か花塚山(919m、川俣町)の線量測定の初冬の山旅を考えている。山やとして、東京電力の電力を使い、東電が汚した「福島山」にこだわって行きたいと思う。そして、中・高年登山ブーム、山ガールにも福島山と原発に思いを寄せて欲しい、と願う。

【第2回阿武隈高地の放射線量測定の日歩き記・完】



モニタリングポスト



モニタリングポストと小生の線量計